

連載

- 10 世界のキーパーソン
- 11 国内人情情報
- 27 Book Reviewing Globe
- 40 テイレスシアスの食卓 ― 河井健司
- 42 大往生考
- 51 西風
- 58 新・危機管理のノウハウ
- 59 交差点 ― 読者の声・編集者の声



暗躍するスパイ勢力と反戦・反自衛隊団体を対象に、手段を選ばず監視する。その異様な能力は国防のためか、ただの組織防衛か。「国家情報局」が設置される今、改めて最強防諜組織の怖さを知るべきだ。(110頁)

- 98 社会・文化 ● 情報カプセル
- 100 医師働き方改革で進む「医療衰弱」 ― 研修医が育たない制度の欠陥
- 102 皇統「男系継承」という幻想の世界
- 104 NHK「仰天人事」に渦巻く疑念
- 106 再審見直し「稲田の乱」が示す道理
- 108 日本サンクチュアリ・シリーズ 620
- 110 自衛隊情報保全隊 ― 対スパイ精鋭組織の秘された実情

- 80 金融の世紀 ― 黒木亮
- 88 皇室の風 ― 岩井克己
- 90 日本の科学アラカルト
- 92 新・大学評判記
- 94 本に会う ― 河谷史夫
- 96 をんな千一夜 ― 石井妙子
- 114 マスコミ業界ばなし

3 連載「巻頭インタビュー」マルガリータ・エステベス・アペー ― 「媚米外交」は日本の為にならず

● 特別レポート

「反トランプ」の世界潮流

右派権威主義「後退」は続くか

- 12 驚愕の米国キリスト教原理主義
- 14 米国で始まる「原発大増設」
- 16 キューバ「米軍侵攻」は遠からず ― トランプ支持率向上の「生贄」
- 18 WORLD ● 情報カプセル
- 22 フランスは「極左政党」も恐ろしい ― 移民に浸透「大統領選」の混乱要因
- 24 中東「安全保障喪失」の絶望
- 28 NATO「米国脱退」は避けられず
- 30 ロシア「石油外交」の明と暗 ― ウクライナを停戦すれば……
- 32 ミャンマーは軍事独裁「完成」へ ― 日本は無意味な「重外交」を継続
- 34 韓国の「国防体制」は大丈夫か ― イラン危機で加速する「米軍縮小」
- 36 中国「隠忍自重路線」の不気味 ― 静かに進む「アジア共栄圏」の拡充
- 38 連載「現代史の言霊」5月の審判 ― イタリア総選挙(2001年)
- 44 政治 ● 情報カプセル
- 46 弱り始めた「高市の保守」
- 48 高市「小誌誤報」に物申す
- 52 連載「政界スキャンダル」高市・今井「関係の不都合な事実」
- 54 高市VS参議院の勝者無き争い
- 56 国民民主「連立入り」で続く逡巡 ― 憲法改正発議の「第一関門」に

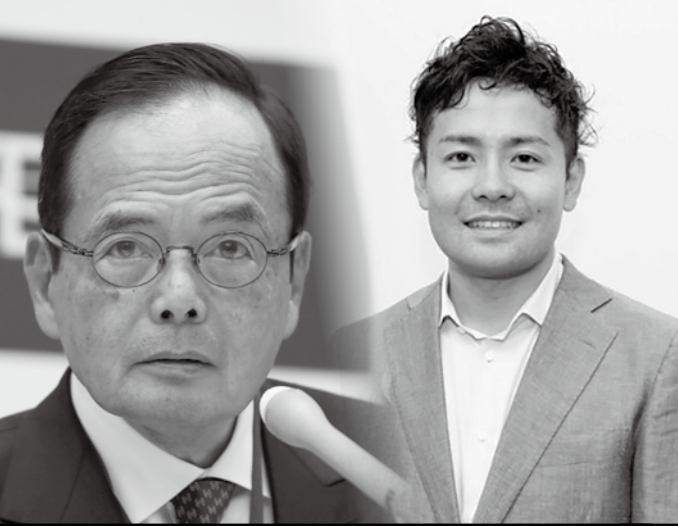


息を吐くように嘘をつく高市と今井こそ、官邸モラル決壊の象徴だ。前号記事を誤報と断じた2人へ、ならば真実の続報を掲げよう。「この政権はまるで“動物園”だ。悲憤する告発の声を真摯に聞くといい。(48頁)

- 44 政治 ● 情報カプセル
- 46 弱り始めた「高市の保守」
- 48 高市「小誌誤報」に物申す
- 52 連載「政界スキャンダル」高市・今井「関係の不都合な事実」
- 54 高市VS参議院の勝者無き争い
- 56 国民民主「連立入り」で続く逡巡 ― 憲法改正発議の「第一関門」に

- 60 再び過熱「半導体相場」の行方 ― いまだ「割安」に見える要因
- 62 実にシラケた「社会保障国民会議」 ― 結局「消費税減税」はやめるのか
- 64 備蓄放出「石油」で「元売り」がボロ儲け
- 67 連載「クローズアップ」平澤寿一(全日本空輸社長) ― 燃料暴騰「視界不良」の危うい離陸
- 68 連載「企業研究」イオン
- 72 ノジマ「日立白物買収」の裏話
- 74 M&A 偏愛社長の隠さぬ野望
- 78 連載「地方金融の研究」東和銀行(群馬県) ― 「赤字転落」に潜む懸念と深謀
- 82 トヨタが部品調達で「中国傾斜」 ― 系列メーカー「切り捨て」の始まり
- 84 今が最後の「石油危機」
- 86 中国軍が「欧州・中東」で躍進中 ― 日本人が知るべき世界の現実

売上高も営業利益も過去最高。だが主力事業の利益率は悲惨な低さだ。頼みの綱の金融事業は、ついに親子上場廃止を目指す。その先兵として御曹司・尚也氏が赴く。「伏魔殿」での成果に岡田家の将来がかかるといえる。(68頁)



ハンガリー独裁者の選挙敗北は「トランプ的なもの」への嫌悪の表出。各地の右派陣営で逆回転が始まった。戦争が招いた生活苦こそ、欧米諸国の最大の弱点だ。それを知悉するイランは、容易に戦争をやめない。(6頁)

